

大学等研究機関との今後の連携方策について

線状降水帯予測精度向上ワーキンググループ（第2回会合）

令和3年5月24日

気象庁

気象庁と大学等研究機関との連携について

- WG第1回会合にて、以下の指摘をいただいている。（再掲）
 - 線状降水帯の予測精度向上に関するさまざまな課題を解決していくには、現象の発生や持続などのメカニズムの解明や、予測技術の高度化の取組を加速するため、大学等研究機関と連携して取り組んでいくことが肝要である。本ワーキンググループでは今後、連携強化に向けた具体的な議論をするべきである。

(連携強化方策として考えられる例)

- 線状降水帯の発生や予測に対して、大学等研究機関と共通認識を持つことができるよう、以下の取組を実施。
 - 線状降水帯の予測精度向上のために取り組むべき課題の分析と解決に向けた議論の場を設置する。
 - 気象庁の数値予報モデル結果などを準リアルタイムに共有し、線状降水帯の事例発生時に、事後的に事例検討会を開催する。

数値予報モニタ図の提供「数値予報資料共有Web」(数値予報モデル開発懇談会の取組み)

【目的】

- 研究者側と気象庁側で可能な限り同じ図を共有して振り返り議論を行うことを通じた、顕著現象の発生要因等の迅速かつ円滑な情報交換・認識共有
- モニタ図の利活用を通じ研究者が得た知見の、気象庁の数値予報への成果還元

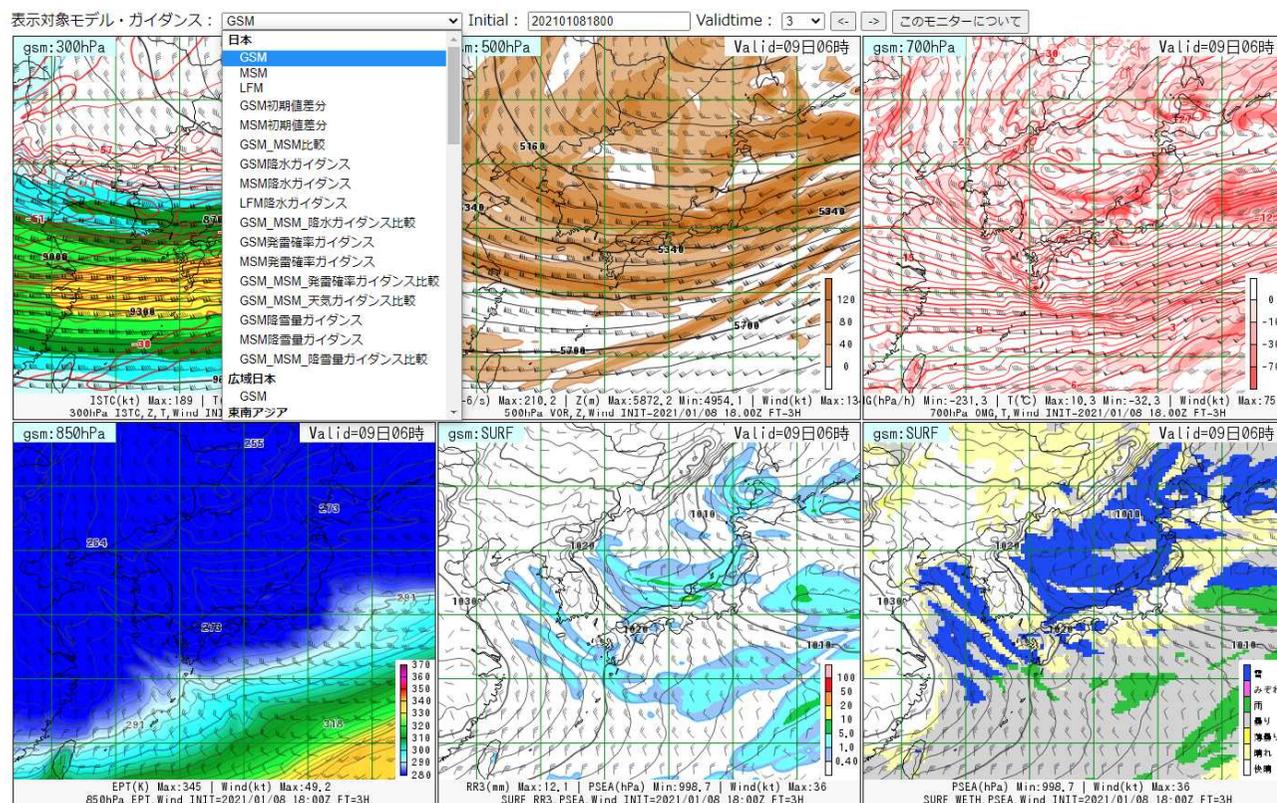
【内容】

気象庁数値予報モニタ図を、準リアルタイム(約15時間遅れ)で提供。

- 対象モデル：GSM, MSM, LFM
- 更新時期：Initialより約15時間後
- 研究利用：条件付きで可能
 - ✓ 成果発表の際、事前の共有をお願いする
 - ✓ 気象庁が数値予報検証にかかる報道発表を行う場合等に、事前の助言等をお願いする

【今後の取組】

- モニタ図の利便性改善
- 数値予報GPVの共有も準備中



Redmineによる情報交換のイメージ（数値予報資料共有Web）

数値予報資料共有Web

- 3月31日運用開始
- プロジェクト管理システム

Redmineによる掲示板機能も実装、ただし、掲示板機能の活用については今後の課題

【参考】

投稿が行われたRedmine
掲示板機能の例

The image shows two browser windows from Redmine. The left window displays the project overview for '数値予報資料共有Web', with a red box highlighting the 'チケット' (Tickets) tab. A red arrow points from this tab to the right window, which shows the details of a specific ticket. The ticket details include a description, attachments (acprof.pptx, avia20160129_RJAA.png, 20160130_temp.txt, 20160130_tokyo_tower_temperature.png), and a list of users who have interacted with the ticket. A blue box with the text '情報共有・意見交換の例 →' (Example of information sharing and opinion exchange) is overlaid on the ticket list, with a red arrow pointing to a specific ticket entry: '282 事例解析 新規 通常 参考資料（平成27年度第8回会合（2月5日））'. The ticket details on the right show a message from Sato Yoshiaki dated 2016/02/09, mentioning the reference material and the meeting.